

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09010040

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 上沢木地区 ・事業期間 平成24年度～平成27年度(平成23年度計画樹立) ・総事業費 620,000千円(補助対象分) ・事業内容 営農用水施設(浄水場、配水管路)改修 共栄地区 ・事業期間 平成23年度～平成24年度(平成22年度計画樹立) ・総事業費 81,000千円(補助対象分) ・事業内容 営農用水施設(浄水場)改修
基本施策	1 農業の振興	事業優先度	A	
単位施策	1 土地基盤の充実	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)	
事業名	農地整備事業(畑地帯担い手支援型)	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	北海道	関係課	#N/A	
事業指標	営農用水施設改修		#N/A	
事業目標	2浄水場	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働	無	関係個別計画名	有 農業農村整備事業管理計画	

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計画内容	基盤となる農地・水・環境の保全と質的向上を図るとともに、農業が本来有する自然循環機能を支持・増進し、生活基盤施設の整備を進め、産業と生活空間の快適さを図る。 負担区分(補助対象分) 調査設計・工事 国 45.0% 道 27.5% 町 27.5%	上沢木地区 24線越 補助分 380,000千円 事業費 合併分 12,460千円 25一般 補助分 130,000千円 事業費 合併分 151,300千円 事業費 合計分 423,760千円 事業量 管路 L=1,165m 事業量 浄水場上屋 1棟 事業量 浄水場機械、電気計	上沢木地区 事業費 補助分 100,000千円 事業費 合併分 3,050千円 事業費 合計分 103,050千円 事業量 管路 L=3,980m 事業量 配水池1箇所 単独事業 事業費 4,760千円 事業量 調査設計 L=2,100m	上沢木地区 事業費 補助分 70,400千円 事業費 合併分 2,800千円 事業費 合計分 73,200千円 事業量 管路 L=2,361m 単独事業 事業費 16,000千円 事業量 管路 L=2,100m	単独事業 事業費 20,000千円 事業量 測量試験一式 給水管切替工事 L=1,169m ※H29年度へ繰越 単独事業 事業費 22,820千円 事業量 管路 L=1,114m		
	計画事業費	事業費(千円)	242,800	126,510	35,310	38,160	42,820
実績事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	71,500	24,700	27,500	19,300		
	その他	1,000			1,000		
一般財源	170,300	101,810	7,810	17,860	42,820		
事業費(千円)	239,947	118,259	37,639	38,473	45,576	0	
関連事項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	農地整備事業債 受益者分担金	【評価・実績】	上沢木地区 浄水場整備 管路布設	上沢木地区 管路布設	上沢木地区 管路布設 L=2,517	給水管切替工事 L=1,169m	
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	管路 L=1,165m	管路 L=3,980m	管路 L=2,361m	給水管切替工事 L=1,169m	管路 L=1,114m
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率		93%	107%	101%	106%
	全体達成率		49%	64%	80%	99%	
	備考欄					#DIV/0!	

事業名	農地整備事業(畑地帯担い手支援型)	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	農地整備係長	苫米地 幸二

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	営農用水受益者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	浄水場の配水管路布設替発注実績		
【抱える課題やニーズは】	施設の老朽化、能力不足による、浄水供給能力不足等の解消		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	管路布設による水の供給能力の強化		① 給水管布設替工事発注実績	目標年度	平成28年度
				目標値	1,169 m
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	良質な水の安定供給による農業経営の安定化	②	実績値	1,169 m	
			達成度	100.0 %	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	配水管路への布設替え	道営事業で整備した配水管への布設替えを実施			
	新配水管の布設	新配水管の布設を実施			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	農業用水・飲雑用水を確保するためには、営農用水施設の安定した稼働が必要であり、水の安定供給を行うためには必要な事業である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	事故等により一部布設替えが行われていない箇所が存在するが、新配水管での水の供給は順次行われている。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	年度ごとの計画どおり事業が進捗しており、効率的に進められている。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減 その他	

(4)事務事業の公平性

概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	農業の振興や生活基盤を図る事業であり、施設の維持管理費は水道利用組合が負担し、事業に伴う受益者負担があるので公平と判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
一部布設替えが行えていない箇所は存在するが、順次布設替えは進められており、事業全体の完了(平成29年度)まで計画どおり進める必要がある。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
地域に住んでいる人の飲雑用水の確保を今後も安定的かつ衛生的に行うためには、継続して進める必要がある。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止